

授業科目		科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
理学療法教育学概論		2単位30時間 講義科目	博士前期1年次 前期開講	☐ ・不可
科目責任者	川口 徹			
担 当 者	川口 徹、諸橋 勇、李 相潤、齋藤 圭介、福士 勇人			
1. 科目のねらい・目標				
理学療法士の数の増加し、理学療法士の質を確保するための教育がとても重要となってきた。学校教育だけでなく、企業教育、専門職に対する教育の水準を高めることは、理学療法士のために必要である。 本講義は、養成施設の教員、あるいは臨床実習施設の実習指導者、その他、理学療法士に教育する機会にある場合における教育方法を教授するものである。				
2. 授業計画・内容				
1. 理学療法科学概略（川口） 2. 理学療法教育の実態（川口） 3. 理学療法教育における歴史的概説（川口） 4. 理学療法教育における研究の位置づけ（李） 5. 理学療法における研究の状況と課題（李） 6. 基礎と臨床研究の在り方（李） 7. 汎用能力と学習評価（福士） 8. コーチング技能（福士） 9. マイクロティーチング（福士） 10. 理学療法におけるキャリア教育の現状と課題（齋藤） 11. 卒後教育としての職場教育の位置づけと課題（齋藤） 12. 理学療法教育分野におけるエビデンス（齋藤） 13. 学部教育と臨床教育の違い（諸橋） 14. 臨床知とは何か（諸橋） 15. 臨床における理学療法士教育の課題と可能性（諸橋）				
3. 教科書、参考書				
特に定めない。必要に応じて資料を配付し、書籍を提示する。				
4. 成績評価方法				
レポート80%、講義への参加度状況20%				
5. 受講要件				
理学療法士免許を有すること				
6. 社会人学生に対する配慮				
土日祝日開講、夏期集中講義など相談に応じる。また、授業は対面とオンラインを用いる。				
7. その他				
オンデマンドの実施 不可				